

おーぶん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>
i-mode <http://www.yaic.gr.jp/i/>

発行:横浜AIDS市民活動センター
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
尾上町ビル9F
TEL:045-650-5421/FAX:045-650-5422
e-mail:info@yaic.gr.jp
平日:13:00~20:00/土・日・祝:10:00~17:00
(火曜日 夜間検査のため休館)
監修 横浜市健康福祉局

夏のイベント情報!!

2008年AIDS文化フォーラムin横浜

テーマ: つながる~いま、私にできること~

毎年、かながわ県民センターで開催されている“AIDS文化フォーラムin横浜”は1994年の「第10回エイズ国際会議」が“AIDS文化フォーラム”開催のきっかけとなりました。日本で開催された「第10回エイズ国際会議」はアジア初めての開催とあって、大きな注目を集めました。行政、学会中心のこの会議は参加費が高く、とても市民が参加できるものではありませんでした。そこで、ボランティア・NGO・AIDS専門家の人たちが、市民のためのフォーラムを開催しようと、この“AIDS文化フォーラムin横浜”を開催しました。そんな“AIDS文化フォーラムin横浜”も今年で15回目となりました。“文化フォーラム”では、HIV/AIDSに関する様々な活動を行うNGO・NPO・学生・行政・エイズ患者(PWA/H)・個人らが集まって様々な手法で(講演、ワークショップ・劇など)で発表・展示・交流をします。もちろん横浜AIDS市民活動センターも展示ブースにて参加をします。ブースではセンターの紹介や、センターオリジナルのグッズなどを配布予定ですので、ぜひぜひお立ち寄り下さいね!

開催場所: かながわ県民センター (横浜駅徒歩5分)
日時: 2008年8月1日(金)~3日(日)・10:00~18:00
入場は無料ですので、お気軽にご来場ください。

★プログラムの一部をご紹介

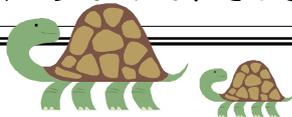
開会式・オープニング

『プレイバックシアター HIVに出会った時!』

日時: 8月1日(金) 10:00~12:00、場所: 2階ホール
昨年の閉会式で大好評を得たプレイバックが、今年はオープニングで「いのち」と「きもち」を「かたち」にします。様々な人たちがHIVではあった時の「状況」と「感情」をインタビューし、プレイバックが、その時を即興劇で再現します

■お問い合わせ先

2008(第15回)
AIDS文化フォーラムin横浜
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
横浜中央YMCA内
TEL:045-662-3721
FAX:045-651-0169



第9回 地域で学ぶ 親と子のいのちと性の教室

~親と子に、性と性感染症(STD)をきちんと伝えたい~

エイズの予防、啓発は大人になってからでは遅すぎます。子供のうちから「正しい知識を」という観点から企画しました。横浜市全18区を年3回、6年間かけて巡回公演をします。この公演の内容は人のからだ、出産、人権、差別、また相手の気持ちを大切にすること、自分の体は自分で守ること、そしてHIV感染者との共生などを学びます。普段語られることの少ない話題ですが、公演を見た後にそれぞれの家庭で話し合える糸口になれば幸いです。多数の方のご来場をお待ちしています。

公演 ひとり人形劇(がらくた座)、テーマ:「地域で学ぶ親と子のいのちと性の教室」

日時:平成20年7月19日(土) 開場・午後6時 開演・6時30分

会場:横浜市南公会堂、対象:幼稚園児・保育園児(4歳ぐらいから)、小学生、保護者

参加費:無料、主催:特定非営利活動法人 AIDSネットワーク横浜(ANY)

〒231-0015 横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9F 横浜AIDS市民活動センター内

FAX:045-201-8809

お問い合わせ:携帯 090-6514-5118 AIDSネットワーク横浜



STDという言葉を知ってますか？



って知ってる？

STDとは、Sexually Transmitted Diseases（性的接触で感染する病気）の頭文字をとって“STD”といい性感染症（昔は性病といわれてました）のことをいい、言葉通り性的接触で感染する、すべての病気のことをいいます（一種類ではないのです）。STDの名前は知っていても、それがどんなものか、まだまだ知られていません。今回のおーばんは、知ってて損はないSTDの情報を紹介します

★STDの怖さ！



・将来に影響があることも

STDに感染しても治療して治せば、また元の正常な状態になるから大丈夫と考えている人もいます。たしかに、早い段階で感染がわかれば完治するものもありますが、STDの中には、完治しないものもあつたり、不妊症や、ガンなどの原因となつたりするものがあります。

・何種類ものSTDに感染していた！？

同時期に何種類ものSTDに感染することもあります。これは、症状が出ている場所がただれていたり、傷ついていたたりした場合、HIV・AIDS（エイズ）を含む他のSTDに対しても抵抗力も落ちているため、さらに感染しやすくなるからです。

・何度でもなる～

STDに一度なつたから、次は免疫（一度感染して治療をし、抵抗性をもつようになるので、同じ病気にならないこと）がついているから大丈夫と誤解している人もいますが、STDの多くは、予防しなければ何度でも感染する可能性があります。

☆STDといってもこんなにある！

・ 性器クラミジア

現在、一番感染者が増えている病気です。男性だと尿道から膿がでたり、排尿時に痛みがあつたりします。女性はおりものの増加や、下腹部の痛みなどがあります。しかし、クラミジアのやっかいなところは、自覚症状がない場合が多いことです。放置すると男女とも不妊症になる危険があります。

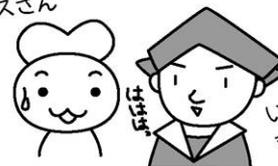
・ 梅毒

梅毒というと昔の病気じゃん、という人もいますが、現在も梅毒の感染者は増えているんですね。感染初期は体にしこりができますが、自然と消えてしまいます。その次ぎに全身に赤い発疹が出ます。これも自然に消えてしまいます。さらに病気が進行すると皮膚、内臓などにコブのような大きな出来物ができ、末期などには体のいたるところの神経を侵し、麻痺や精神錯乱を起こします。症状が出ては消えの繰り返しなので、病気が治つたのではと勘違いしてしまうことがあります。

梅毒は

コロンブス一行が米大陸を探す航海中に先住民の女性から感染し、そのまま梅毒をヨーロッパに持ち込こんで、そのあと世界にも広がつたとの説があります。

えらいことで有名になりましたね
コロンブスさん



・ 性器ヘルペス

症状は性器周辺に水ぶくれができたり、排尿時に痛みがあります。この原因となるウイルスは治療しても神経細胞に住み着くため体内に残るので、体力が落ちた時などに再発します。ですから一度感染してしまうと、一生病気と付き合っていかなければいけません。

・ 尖形コンジローマ

ヒトパピローマウイルスが原因です。症状は、性器周辺にイボ（ニワトリのトサカ状のもの）ができます。このウイルスには良性タイプと悪性タイプがあります。尖形コンジローマは良性タイプが原因です。悪性タイプは、最近週刊誌などにも取り上げられていますが子宮頸ガンの原因になるともいわれています。

・ HIV/AIDS(エイズ)

HIVは体の中の免疫を壊していくウイルスです。感染初期に、風邪のような症状が出ることがあります。そのあと無症状の期間が数年から10数年続き、免疫が破壊されていくと、日和見感染症（健康な時にはかからないような病気）にかかります。この状態をAIDS（エイズ）発症といいます。

その他にも、毛ジラミ、淋病、トリコモナス、B型肝炎などあります。

★症状がないからといって安心するべからず！

症状がでてないから大丈夫と安心してはいけません。クラミジアやなどは症状が出るのが少なく、自分が感染していることに気づきにくいです。症状がないからといっても、病気はどんどん進行しますし、予防をしなければ性的接触をした相手にも感染させてしまう恐れがあります。現在、問題になっているのが、病気がかなり進行してから気づくなど、感染してから時間がたってから発症するパターンが多いことです。自分だけは、大丈夫とは思わずに、少しでも不安に思うことがあれば、すぐに検査を受けましょう。



☆STDに感染しないための、予防方法とは？

- ① 性的接触をしない。(感染経路となる性的接触がなければSTDに感染しません。)
- ② 性的接触の最初から最後まで、正しくコンドームを使うこと。

正しいコンドームの使用方法はこちらをご覧ください！→<http://www.yaic.gr.jp/condom>

※予防にはコンドームが有効ですが、STDの中(ヘルペス)には皮膚の接触によって感染するものがあるので、すべてのSTDの予防ではありません。

- ③ 不特定多数・不安を感じる相手とは性的接触をしない。

不特定や、「この人はSTDになってるんじゃないか…」という人と性的接触するのは、とてもSTDに感染するリスクがとても高い行為です。

- ④ 性的接触のする前に、お互いのために検査を受けよう！

今は、予防をしていなければ、性的接触がある人は、誰でもSTDに感染する可能性がある時代です。STDについて正しく理解していれば、検査を受けることが、どれだけ相手のことを大切に思って行動したかが分かるのではないのでしょうか。「今は、付き合っている相手がいらないから検査する必要がないよ～」とってる人も、将来の相手のために検査を受けてみてはいかがでしょうか？



☆「STDに感染したかも…」「これを機会に感染していないか知りたい！」と思ったら！

・STDに感染したかも…と不安に思ったら

恥ずかしがらず、勇気を持って早く病院に行きましょう。STDには早期発見、早期治療が大切です。さあ、そこで病院へ行こうと決心し「いざ、病院へ！」となった時に、「ところで、何科の病院に行ったらいいだろう？やっぱり性病科？」という人がいると思いますが、もちろん性病科でも大丈夫ですが、他の科でもいいんですよ。その場合は、男性なら「泌尿器科」、女性なら「婦人科(産婦人科、レディースクリニックなど)」などに行ってくださいね。

・STDに感染しているか調べたい

横浜市内の福祉保健センターでは、HIVとクラミジア(※クラミジアは一部の福祉保健センターのみ)の検査を実施しています。福祉保健センターの検査は無料・匿名で実施しているので気軽に検査できます。もちろん、病院(有料)などでも検査はできます。検査を受けることは、自分自身のことを知る良いきっかけになりますよ。

検査の案内はここを見てね→HIV検査・相談マップ(<http://www.hivkensa.com>)

※HIV以外にも、STDの検査も掲載しています。



★ピックアップ～クラミジア検査の陽性率はこれくらいなのです！

横浜市の7福祉保健センター、夜間・土曜日検査でクラミジア検査を実施しています。平成19年、1年間でクラミジアの検査の件数は2,279人(男性1,465人、女性814人)でした。検査は年々、増加している傾向にあります。陽性率は男性24.8%、女性は39.8%と、とても高い割合になってます。これを見て、多いと思いますか、少ないと思いますか？

☆新・教えておねえさん～尾上家編～☆

こんにちは！私の名前は桜木まち。横浜 AIDS 市民活動センターで事務局員をしています。エイズについて考えてくれるみんなを応援する施設です。中学生になったばかりの拓海くんと未来ちゃんはカラダの変化や、ココロの悩みなど、不安になることがたくさんあるみたい。このマンガでは拓海くん未来ちゃんの悩みに、まねえさんが答えてくれます。さて、どんな質問が飛び出すでしょう？

このマンガは中学校の養護教諭の先生にご協力いただいております。
横浜市立瀬谷中学校 養護教諭 大津留 幸子 先生



“STDは何度も感染するものもあるんです！”

STD（性感染症）には麻しん（はしか）やインフルエンザの様に予防注射（ワクチン）がありません。一度、感染しても、また感染する可能性はあります。STDの予防には、まず正しく理解することが大切です。